



つづく つながる 夢を育てる学び舎

国立二小だより

令和4年(2022年)10月28日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

季節感を味わう

校長 小林 理人

秋の深まりとともに校庭の木々の葉が色付いてきました。もみじやイチョウ、メタセコイヤに加えドウダンツツジなど、色鮮やかな木々で彩られた秋の紅葉は、春の桜、初夏の新緑とともに国立二小の季節感を味わう風景のひとつです。校舎の建て替え工事の開始が決定し、秋の紅葉は今年が見納めになるかもしれません。

国立二小には四季折々の草木があり、その花を愛でたり季節の実りを楽しんだりすることで日本の四季を肌で感じることができます。美しい自然と四季は私たちの国の特色です。私たちの豊かな感性や自然を大切に作る気持ちはその中で生まれたと言っても過言ではありません。そして、私たちは季節ごとの年中行事を大切に、季節の恵みをみんなで分かち合うとともに単調になりがちな生活に変化をつけ、生活に楽しみや安らぎを得てきました。学校における学校行事も同様です。

春から夏に行われる遠足(本校では校外学習、移動教室、野外体験教室)、秋の運動会、月末に予定されている展覧会、1年間の節目として行われる卒業式、入学式は毎年繰り返される学校における年中行事となっています。

また、地域の行事やイベントも季節感を味わう年中行事です。コロナ禍によりイベントそのものが中止されたり、実施方法が変わったりしてここ数年は参加できなくなったものもありますが子供たちは地域行事やイベントへの参加を楽しみにしています。

ここでは子供たちが地域の年中行事として参加をしている代表的なイベントを紹介します。

環境フェスタくにたち 10月22日(土)

この2年間、開催を控えていた環境フェスタくにたちが、今年はくにたち市民芸小ホールで開催されました。本校では社会科や総合的な学習の時間で環境の学習を進めている4年生がこのイベントに参加をしました。今年度は1学期に学習した私たちの生活を支える水の確保の問題を取り上げてポスターを作成しました。また、SDGsを全校で取り組んでいることもあり、中には17の目標を意識した啓発ポスターを作成した子供もいました。

くにたち秋の市民祭り 11月6日(日)

子供たちが楽しみにしている「くにたち秋の市民祭り」が今年は通常通りの開催となる予定です。国立市のシンボルである大学通りが歩行者天国となり、二小の金管バンドの子供たちがパレードに参加します。また、野球やサッカーなど地域のスポーツ団体やボーイスカウトなどの育成団体に所属している子供たちも広い大学通りをたくさんの市民の方に見守られながらパレードをします。

金管バンドの子供たちは通常の演奏会とは違い、歩きながらの演奏となるためこれまでとは違った練習を取り入れながら本番に向けて練習を行っています。

に一だんごの会 12月3日(土)

育成会が中心となり、保護者の皆様にもお手伝いいただきながら実施している「に一だんごの会」の準備が進んでいます。

に一だんご(煮団子)は谷保に伝わる郷土料理で冬野菜がたっぷり入っただんご汁です。コロナ禍によりだんご汁をつくって食べることは控えていますが、たこや羽子板などお正月遊びをメインにした遊び道具をつくる活動として継続しています。例年、低学年の子供たちを中心に定員を超える参加があります。今年度は羽子板づくりを行います。羽子板の絵付けを行ったり、作った羽子板で羽根つきをして楽しんだりする予定です。